

にんにく卵黄 「青春の元」だより

(2 月 号)

発行 株式会社パワーボール

二月は逃げるぞ つかまえる

～厳しい寒さに耐えてこそ 春がうれしい～

一年中で一番寒い時季を迎えました。この月に入り早速3日は「節分」そして4日には「立春」が訪れます。この春立ちを待つ心地は、ここ南国鹿児島といえども、春の到来を待ちわびるこの頃です。

「青春の元」ご愛用の皆さん、日本中大変な大雪に見舞われ、祝賀の移動にも支障をきたし、初詣の人も昨年はつもつでに比べかなり少なめな正月三が日だったようですが、如何お過ごしでしょうか。風邪などものともせず、お元気で寒さを乗り切っておられることとお喜び申し上げます。

合わせて、弊社手作りの自慢の製品「青春の元」を懐にしのばせ、毎日の元気の元を作り出しておられる皆様の姿を暇に浮かべながら、わたしたち社員一同は、心を入れて手作りし、送らせていただきます。どうか続けてご愛用ください。



イメージキャラクター

標題にも載せましたように、『二月は逃げる』という表現をよく使いますが、素早く去ろうとする日々をしっかりと捉まえ、一日一日を充実したものにしていけますようお元気で、明るく、楽しい日々を祈念申し上げます。

最後に、右上の写真「梅に鶯」をご覧頂き、蘇村の下の句を鑑賞してみてください。2月の中、下旬には目にする光景だと思い載せました。

「鶯の 枝ふみはずす 初音かな」 蘇村

【ニンニク にんにく 大蒜 蒔】を植えてみませんか

「青春の元」ご愛用の皆様は、ご家庭の菜園かプランターなどに植え、楽しんでおられるのではないかと思います。今月はこの話題にしました。

ニンニクの歴史は古代エジプトから日本では古事記や日本書記に遡ります。日本の特産地は青森県、中でも田子町のニンニクは有名。



ニンニクの鱗片



ニンニクの芽



ニンニクとその花

そこでニンニクの栽培法は、インターネット情報で見ますと「暖地の場合、秋に鱗片を畑地に軽く植え付け、越冬し、翌年の夏、梅雨入り前に収穫する」とあります。自分で育てたニンニクの滋養はまた格別ではないかと思います。是非挑戦してみてください。寒さ厳しい時節です。どうかご自愛下さい (文責 顧問 M.T)